

# 祐善寺だより

第12号

発刊日

2004年7月14日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡朝日町上糸生・森 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170



顔

仕事は

なんでもいい

一生けんめいに

生きている人の

顔は

みんな美しい

美しい顔に

なりたい

相田みつを

## 佐世保児童殺傷事件に思う

住職 岡崎 賢

去る六月一日に長崎県佐世保市の小学校でおきた六年生女子児童による同級生殺害事件は、あまりにもショッキングで、皆様の記憶からもまだ消え失せてはいないと思います。

あのニュースを聞いて、誰もが「まさか小学生が…」と絶句したに違いありません。犯罪の低年齢化が問題となつてきていますが、ついに、小学生による、同級生の殺害事件にまで行き着いてしまいました。

警察庁の調べでは、これまでの十五年間、小学生による殺人・殺人未遂事件は、八件にのぼるとのことです。

このような事件が起きると、必ず「なぜ周りの者は、もっと早くに対策を講じることができなかつたのか？」というところが問われます。まさに、今回もそうでした。

河村文部科学大臣は、この事件について、「誠に痛ましく、言葉を失った。人を傷つけてはならないとか、命を大切にしなければならぬといったことを学ばせるのは教育の原点。改めて、命や心の

教育がどうあるべきかを考えなければならぬ」とのコメントを発表しました。

私は、この「命や心の教育」とは、まさに「お念仏ある暮らし」と読み替えようと思います。どの家庭でも、以前のようには再度、お念仏ある落ち着いた暮らしを復活させようではありませんか。犯罪の低年齢化は、決して学校教育だけに責任を負わせてはいけません。いや、むしろ家庭での教育が崩壊しているのではないのでしょうか？ どの家庭でも、お念仏を中心にしたお念仏ある暮らしを復活させることで、人を慈しむ心が育まれてくるに違いありません。

家庭での親子の関わり、そして、今見失われそうになつてきている「お内仏を中心とした家族のつながり」を、本当に真剣に考えていたかなくてはなりません。佐世保の事件は、決して他人事ではないのですから。



# 平成16年度 祐善寺年間教化事業等計画

## 1 年中行事の厳修

- ①御年頭 1月1日・2日
- ②彼岸会 春 3月20日 午後2時〜  
法話・住職
- 秋 9月23日 午後2時〜  
法話・住職
- ③蓮如上人御忌 6月24日(木)  
布教・朝倉師
- ④永代経会 8月7日(土)  
布教・大門師
- ⑤報恩講 11月2日(火)  
布教・出雲路師
- ⑥御正忌 11月28日(日) 午後2時〜  
12月31日(金) 午後11時30分〜
- ⑦除夜の鐘

## 2

### 同朋会の実施

(第一日曜日 午前8時30分〜10時)

- 第1回 3月7日 第2回 4月4日
- 第3回 5月2日 第4回 6月6日
- 第5回 7月4日 第6回 9月5日
- 第7回 10月3日

### 同朋会の内容

- ①おつとめ、おふみの練習
- ②座談
- ③各回当番を決めて感話等を話す
- ④参加者で司会進行を担当
- ⑤特別の事情により、日時等変更あり

## 3 正信偈おつとめ 出前講座の実施(新)

正信偈のおつとめを、どこのご家庭でも全員が読誦できるように、ご要望により住職がご家庭等に伺い、正信偈のおつとめを伝授しようという試みです。

## 4 作業奉仕

- ①草刈り奉仕 8月1日(日)予定  
当番地区 天谷、新庄区  
及び有志
- ②雪囲い奉仕 11月21日(日)予定  
当番地区 森、杖立区  
及び有志
- ③報恩講奉仕 11月1日(月)、2日(火)  
当番地区 森、清水、氣比庄、  
西田中、乙坂区
- ④仏具みがき奉仕 10月23日(土)  
報恩講当番地区及び有志
- ⑤その他

## 5 門徒総会の開催

1月2日 午前10時〜

## 6 「祐善寺だより」の発行

年2回発行予定

## 平成16年度護持費の志納よろしくお願ひします

祐善寺を永代に互つて護持していただくために、護持費をお願いしておりますが、今年も次のおりご志納下さいますようよろしくお願ひします。

### ◇護持費の使途

- ・報恩講の厳修費や教化事業の実施
- ・本堂を守る火災保険や環境維持費用
- ・本山相続講、福井教区賦課金等
- ・その他

### ◇年額

一戸平均 一〇、〇〇〇円

### ◇志納方法

- ・寺へ直接志納する
- ・秋まわりや法事で住職が貴家を訪問の際に志納する
- ・地区の役員さんに志納する
- ・郵便振替口座

(〇〇七七〇―九一三〇七二一)

・加入者〓祐善寺

へ振り込む

### ◇志納期限

毎年十一月末日

# 正信偈出前講座

## を始めました

平成十六年度の当寺の新規教化事業計画として、正信偈出前講座を始めました。

正信偈は、親鸞聖人によって著述され、蓮如上人によって民衆の中に広められた浄土真宗の基本的聖典の一つである『教行信証』の中に収められています。

蓮如上人没後も、五百年もの昔から私たちの先祖様や先輩が「お講様」を中心に、脈々と唱和し続けて来られたという歴史がございます。正信偈の歴史は、浄土真宗の歴史そのものであります。お互いに、正信偈を唱和することで真宗門徒としての共同体意識が形成されてきたことも事実であります。しかし、どうでしょう。最近、ご門徒さんから、よく「うちの若いもんは、殆どお仏壇の前に座ることがないので、正信偈のお勤めをあげられん。」という嘆きを、よく耳にします。また、お年寄りの方からも、お念仏の音があまり聞かれなくなりました。今一度、私

共のご先祖様が脈々と唱和し、受け継いで下さった正信偈のお勤めを、ご門徒さんの一軒一軒で、ご家族全員が読誦出来るようになっていただき、という願いから、今年度より「正信偈出前講座」を始めました。

ご要望をいただいたご門徒さんのお宅に、或いは、ご要望をいただいた地区に住職が伺い、ご門徒さん全員がお勤めを読誦できるようにアドバイスをさせていただきます。という試みです。

ご家族お揃いで、或いは、ご夫婦で、または一人ずつ正信偈のお勤めを住職と一緒に練習するという光景は、真宗の本来の姿なのでしょう。

お勤めを伝授することは、住職の重要な任務のひとつでありますので、礼金は一切不要です。是非、お気兼ねなくお申し出下さい。お待ちしております。



# 庫裡床下部修復工事後の 湿気等の状況について

昨年、突如として発生した庫裡床下部の腐食に伴う庫裡床下部修復工事の際には、ご門徒の皆様には、大変なご迷惑をおかけいたしましたし、ご支援いただきましてありがとうございます。

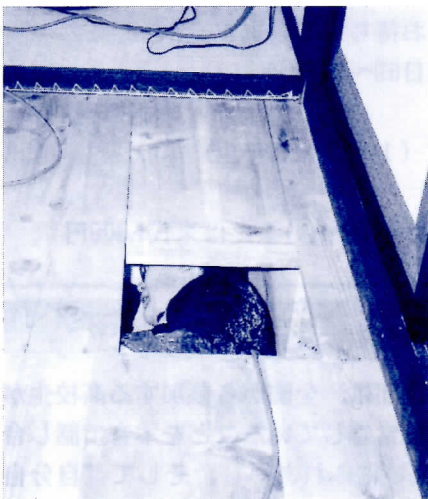
あれから、初めての梅雨期を迎え、修復工事後の床下部の湿気の状態、結露の有無等について調査するために、

ご門徒で小川建築設計室の小川英治氏が、七月三日、庫裡床下部に入り込み、ライトで照らしながら、床下部をくまなく調査して下さいました。

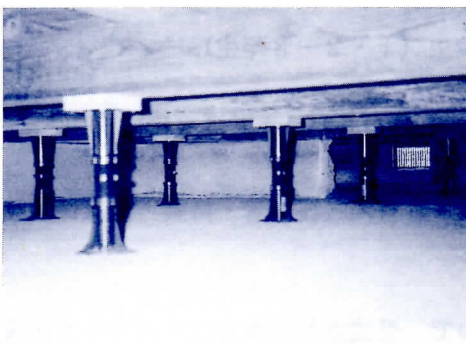
調査結果は、①コンクリートはすっかり乾いており、全く結露はみられない。②床板も乾いていて、湿気をもつ

ていない。③大びきが、湿っぽく感じられるが、材料が乾ききつていなかったことが考えられる。④この状態では、床下に換気扇を入れる必要はない。⑤あと、二〜三年、梅雨期にこのような調査を行って調査結果を追跡する。ということでした。

本当に良い結果で、胸を撫で下ろしました。床下の湿気の状態については、今後も気を付けて調査していくことになりそうですので、よろしく願います。良い調査結果を報告できますことを、とても嬉しく思いますし、ご門徒の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。



狭い点検口から床下に入った小川氏



床下はきれいに乾いている

# ご家族・ご親戚・ご法友の小学生・中学生・高校生を本山奉仕団に!!

## 少年犯罪を家庭から防止するために…

近年、犯罪が低年齢化してきています。本号の冒頭でも指摘させていただいておりますが、これには、様々な要因が考えられています。学校教育の問題、家庭教育の問題、宗教教育の問題、政治経済の問題…等、色々と指摘されております。でも、もはや、評論家ぶって問題を指摘するだけではいけません。みんなが、それぞれのところで少年犯罪を防ぐための行動を開始しなければなりません。

私は、ご家族やご親戚、ご法友に小学生・中学生・高校生がおられましたなら、本山奉仕団に参加させていただきたい、と思えます。少年時代の本山での宗教体験は、その後の、そのお子様の人生に、とても貴重な体験として、大きく影響してくるに違いありません。

ご自分のお子様が、少年犯罪に走らないためにも、今一度、家庭でのお子様への宗教教育、宗教体験について、よく考えていかねばならない、と思えます。

下記のとおり、この夏の本山奉仕団日程をご案内させていただきます。お子様を交えて真剣にご検討下さい。お申し込み、お問い合わせは、祐善寺までお願いします。



今春、同朋会館を主会場に開催された「中学・高校生の集い」

### 真宗本廟子ども奉仕団

㊦㊧㊨

「ともだち」 — であおうよ いのちの広場で —  
親鸞聖人の教えを聞いて、ともに同朋(ともだち)として生きる道をたずねる。

- 期 間** 第1回 7月26日(月)~27日(火) 1泊2日  
第2回 8月5日(木)~7日(土) 2泊3日  
第3回 8月9日(月)~11日(水) 2泊3日  
第4回 8月19日(木)~20日(金) 1泊2日  
第5回 8月22日(日)~24日(火) 2泊3日

**定 員** 第1~4回 150人 第5回 100人

**会 場** 真宗本廟(東本願寺)同朋会館

**内 容** 真宗本廟において

- 1) 真宗のお話を聞く
- 2) 「正信偈」のおつとめをする
- 3) 清掃奉仕をおこなう
- 4) みんなで遊ぶ

**対 象** 小学校4・5・6年生

- 冥 加 金** 1) 1泊2日 6,000円  
米1.2kg(8合)または米代800円  
2) 2泊3日 8,500円  
米2kg(1升4合)または米代1,300円

**携 行 品** 念珠・『大谷派勤行集』・筆記具(鉛筆・ノートなど)・洗面具・着替え・寝間着・持薬・健康保険証(コピー不可)・活動しやすい服装・その他(帽子・雨具など)

**申 込 方 法** 祐善寺まで直接お電話下さい。

**帰 敬 式** 期間中に受式できます。申込書に帰敬式受式欄がありますので、受式される場合はその旨をご記入下さい。帰敬式礼金 10,000円

お一人から参加できます

### 真宗本廟中学生奉仕団

真宗本廟中学生奉仕団では、全国から集まった参加者と一緒に野外へ体験学習に出かけたり、生活の中で感じたり疑問に思ったりしていることを本音で語り合います。みなさんのご参加をお待ちしています。

**期 間** 8月22日(日)~24日(火)

**定 員** 50人

**対 象** 中学生(1・2・3年生)

**冥 加 金** 8,500円

他に米2kg(1升4合)または米代1,300円

お一人から参加できます

### 真宗本廟高校生奉仕団

真宗本廟高校生奉仕団は、全国から参加する高校生が、野外活動やお互いが日常感じていることを本音で話し合うことを通して、“互いにふれあい”、そして“自分自身を見つめなおす”つどいとして開催いたします。

**期 間** 7月29日(木)~31日(土)

**定 員** 50人

**対 象** 高校生(1・2・3年生)

**冥 加 金** 13,000円

他に米2kg(1升4合)または米代1,300円

# 第4回

# 御和讃講座

## 光雲無碍如虚空

仏様の光明は、雲のように世界をおおい

## 一切の有碍にさわりなし

なにもものにも、さまたげられることはありません。

## 光沢かむらぬものぞなき

そのような仏様の光の恵みを、受けないものはいないのです。

## 難思議を帰命せよ

この仏様の不思議の光を、あおいで生きる他はないのです。

其の八



### ご本尊とは(1)

浄土真宗のご本尊は阿彌陀如来です。阿彌陀如来のお姿には、木に彫った木像の本尊、絵に描いた絵像の本尊があります。

木像本尊は一般的に、寺院の本堂に安置されていますので、お参りの際に手を合わされた方も多いと思います。

一方の絵像本尊の場合は、主としてご家庭のお内仏におかけいただきたいです。木像・絵像両本尊の他にも、言葉に表した名号本尊があります。その元となるのが「南無阿彌陀仏」(漢字六文字であることから六字名号と呼ぶ)です。

このように、浄土真宗のご本尊を形に表した場合、木像・絵像・名号の三種類に分けることができます。

では、ご本尊にはどのような意味があるのでしょうか。

本尊の語源を尋ねてみますと、私たち



を守ってくれるものという意味があったようです。そのことを現代に置き換えて考えてみますと、寺社のお守りやお札がそれに当たりましょう。例えば、交通安全のお守りを車中に下げること、交通事故から守ってくれるということになるのでしょうか。

あるいは、阿彌陀如来に合掌して、「どうぞ仏さま、私をお守りください」と祈り願ったとすれば、阿彌陀如来が守護的な意味になってしまいます。(参考：平野修著『南無阿彌陀佛のいわれ』)

しかしながら、浄土真宗のご本尊は、そういう私を守ってくれるものという意味ではありません。

仏教は生きることの苦しみや死の不安からの解放を説く教えであることは、すでに申し上げました。このような仏教の原点に立って、私にとつてのご本尊といった場合、それは外から私を守ってくれるものではなく、私の内に発見するものです。

つまり、ご本尊とは人生において本当に尊いことであり、真の拠り所であり、このことさえはつきりすれば、他の仏さまや神さまにお願いする必要のない生活を開いてくるものなのです。次回から詳しくたずねてみたいと思います。

「サンガ」より

# お知らせ



## 永代経会

八月七日(土)

十二時

御齋

二時

永代経会

二時三十分

法話

大門照忍 師

三時三十分

物故者総墓収骨

どうぞご参詣下さいませよう、ご案内いたします。

## 入門 介護保険

### 訪問入浴サービスとは？

移動入浴車が身体の不自由なお年寄りの自宅まで行き、車内または居室内に浴槽を持ち込んで入浴を行うのを、訪問入浴介護といいます。

浴槽は、一畳程の大きさなので、狭い室内でも利用できます。入浴する際、入浴が可能かを同行した看護師が血圧や体温等をチェックして判断します。

入浴が可能であれば、入浴車内に利用者を移動させるか、居室内で浴槽を組み立てます。

浴槽では、スタッフが全身を洗い洗髪もしてくれます。シャワーでかけ湯をして、終わるまでの時間は、約十分程度です。

訪問入浴介護を受けるには、要介護認定で「要支援」以上の認定が必要で

訪問時に、利用者の心身の状況から、全身入浴が困難な場合でも、希望すれば、清拭、または部分浴をしてもらうこともできます。

手続きには、申請書のほか、医師の意見書等が必要で

## 平成十六年度 年忌表

|       |         |
|-------|---------|
| 百回忌   | 明治三十八年没 |
| 五十回忌  | 昭和三十年没  |
| 三十三回忌 | 昭和四十七年没 |
| 二十五回忌 | 昭和五十五年没 |
| 十七回忌  | 昭和六十二年没 |
| 十三回忌  | 平成四年没   |
| 七回忌   | 平成十年没   |
| 三回忌   | 平成十四年没  |
| 一周忌   | 平成十五年没  |

本年度の年忌は右の通りでございますので、貴家の過去帳をお確かめの上、または寺へお問い合わせの上、かけがえのないご先祖様の年忌法要を是非お勤め下さいませよう、お願い致します。

## おくやみ

松島喜久雄様(鯖江市桜町)には、平成十五年十二月三十日、行年七十一歳にて往生の素懐を遂げられました。御生前中の御功勞に、心より深謝申し上げます。



谷口重雄様(福井市足羽一丁目)には、一月十六日、行年八十六歳にて往生の素懐を遂げられました。御生前中の御功勞に、心より深謝申し上げます。



## 編集後記

★今年には空梅雨気味で暑かったですが、皆様には暑中お変わりございませんか、お伺い申し上げます。

★予算の関係上、この『祐善寺だより』は、年二回発行のため、暫くのご無沙汰でした。この間に、世間では、また実に悲惨な事件が続発しました。その中でも、長崎県佐世保市で起きた小学生による同級生殺害事件は、あまりにもショッキングな事件として、今なお私共の記憶から抜けきれません。本当に、家庭でのお内仏を中心とした生活を復活させねばなりません。子供も皆、心がすさんできているのですから…。

★そのための一環でも言うべき、正信偈出前講座を始めています。どうぞ、気兼ねなく、お申し出下さい。何処へでも飛んで行きます。一緒に、お勤めを勉強しましょう。

★近年、お年寄りでもお念仏を口にす姿が見られなくなりました。何故なのでしょう。是非、お念仏を次代にしっかりと引き継いで下さい。皆様、お疲れがたまえぬようくれぐれもご自愛下さい。